

# アイーダ (Aida)

ヴェルディ 作曲

初演 1871年12月24日 カイロ カイロ劇場

全4幕

主な登場人物とパート

エジプト王 (ファラオ) バス

アムネリス メゾソプラノ

アイーダ ソプラノ

ラダメス テノール

ラムフィス バス

アモナズロ バリトン

## 第1幕

古代エジプト。宿敵エチオピアが毎度のこととて攻めて来ている。討伐隊が編成されるだろう、と聞いた若き將軍ラダメスは、その指揮官に就いて軍功を挙げれば今度こそ愛する清純派奴隷のアイーダと結婚出来るだろう、と歌います。

そこに、ラダメスを愛する王女アムネリスとアイーダ登場。ラダメスは真意を悟られぬよう振舞いますが、天然な上に鋭い女の勘によりあっさり悟られます。

ご神託により、ラダメスが指揮官に就任。王と王女の「勝ちて帰れ！」の激励に沸く群衆が立ち去ると、独り残った奴隷アイーダ、その実態はエチオピアの王女、は、愛するラダメスに勝って帰って欲しい、でもそれは我が父をはじめ祖国の敗北を願うこと、ああ私どうすればいいの....と苦しい胸の内を歌います。

一方神殿ではラダメスとエジプト軍の勝利を祈って儀式が捧げられます。

## 第2幕

宮殿のアムネリスの居室。戦が終わっていますが、詳細はまだ知らされていません。「我が妹よ....」と言いつつ恋敵の「奴隷」に神経戦を仕掛けるアムネリス。アイーダに「ラダメスは死んだ。」と知らせます。悲嘆に暮れるアイーダに実はラダメスは無事だと知らせます。喜ぶアイーダに、アムネリスはお前は奴隷の分際でラダメスを愛しているのね、なんと生意気な、と言い放ちます。何を！世が世なら.....と言い掛けて思い止まり許しを乞うアイーダに、どうせここまで、今日私の勝ちが決まるのよ、見てらっしゃい、と言い捨てて出て行きます。

広場では、王と王女臨席の下、凱進行進が始まります。群衆の合唱を伴い高らかに奏される凱進行進曲。クライマックスでラダメス登場。王は、何でも望みのものを褒美に取らせると約束します。そこに敗軍エチオピアの捕虜たちが連れ出されます。そこに父アモナズロ（王女アイーダの父、即ち実は王）の姿を見つけたアイーダ。アモナズロは王は亡くなったが武運拙く負けただけ、と虚実ない交ぜにしつつ

堂々とした態度で受け答えをします。ラダメスの執り成しもあって、エチオピアの捕虜は釈放、但し指揮官アモナズ口は拘束抑留、と決まります。

それはそれとして、と、王はラダメスへ褒美として次期王位を与える、即ち娘をとらせると曰います。沸く群衆、ざまあみろ、と喜ぶアムネリス、絶望するアイダと当惑するラダメス。

### 第3幕

ナイルのほとり。結婚式を控えたアムネリスは神殿の中で祈りを捧げます。

神殿の近くでラダメスと待ち合わせているアイダ登場。「我が故郷よ」と我が身の不幸を嘆きます。そこに、父アモナズ口登場。敵の将軍と通じるお前は祖国の裏切り者だ！と指弾して、アイダにラダメスを籠絡してエジプト軍の弱点を聞き出すよう迫ります。

そこにラダメス登場。マリッジブルー振りを発揮して、君を愛している、じゃあ一緒に逃げて、いや祖国は捨てられない、となんのかんのと押し問答。とうとう、「私と一緒に来てくれないのなら、彼女をとるのね！」と博打に出たアイダの気概に負けて、一緒に逃げることにしてしまいます。

じゃあどうやって逃げる？普通の道では捕まるぞ、秘密の軍道を使おう、あれなら大丈夫....と、そこに隠れていたアモナズ口登場。秘密を聞いたぞ！さあ、一緒に逃げればお前はエチオピアの婿養子！驚愕するラダメス。そこを見つかり、呼び集められる衛兵。逃げるアモナズ口とアイダ。ラダメスは逃げもせず、私が秘密を漏らした、と自白して捕縛されます。

### 第4幕

自分が騒いだのでラダメスが捕まってしまったアムネリス。彼を救えるのは私だけ、と、ラダメスに面会して、アイダを諦めて自分と結婚するよう迫ります。一方のラダメスにはさっぱりその気がなく、アイダは逃げおおせたと知って喜ぶ始末。とうとう、「私と一緒にいるか、さもなければ死刑は免れない！」とアムネリスが迫るのに、じゃあ死んだ方がましだ！と言い放つ始末。

そのまま裁きの場へ。外でハラハラするアムネリスをよそに、神官達の尋問に一切弁解もせず、一貫して沈黙を以って答える始末。独りおろおろするアムネリス。裁きは下った。地下の墓所に生きながら幽閉して窒息死。出て来た神官達を血に飢えた者共め、呪われる！と叫ぶアムネリス。

一方、大人しく幽閉されたラダメス。自分はここで死ぬのか、まあアイダが無事なのがせめてもの慰み....と、そこに現れたのは予め墓所に忍んでいたアイダ。なんてことを！死んでしまう、と驚くラダメスに、生きていても仕方ない、あなたと一緒に死にたいの、と語るアイダ。徐々に死が近づく中、死後の世界で結ばれよう、と語り合う二人。そこにかぶさる、ラダメスの冥福を祈るアムネリスの声が流れる中、幕。